

(報道発表資料)

2018年4月25日
株式会社三好不動産
西日本電信電話株式会社
アズビル金門株式会社

Fukuoka City LoRaWAN™を活用した

集合住宅における水道メーター自動検針実証について

～検針業務におけるLoRaWAN™の有用性検証し、不動産管理業務の効率化をめざす～

株式会社三好不動産（福岡県福岡市 代表取締役社長：三好修 以下 三好不動産）、西日本電信電話株式会社 九州事業本部（福岡県福岡市 取締役九州事業本部長：小澤正憲 以下、NTT 西日本）およびアズビル金門株式会社（東京都豊島区 社長：上西正泰 以下、アズビル金門）は、LPWA※1 ネットワーク「Fukuoka City LoRaWAN™※2」を活用した実証実験を2018年5月1日より開始いたします。

この実証実験では、集合住宅1棟の全戸に設置するスマート水道メーター※3からのFukuoka City LoRaWAN™を通じたデータ取得の正確性を確認し、遠隔検針による不動産管理業務の効率化に向けた検証を行います。

※1 LPWAとは「Low Power Wide Area」の略称。IoT/M2Mに適した省電力・長距離の通信を実現する省電力広域無線通信の呼称

※2 Fukuoka City LoRaWAN™とは、福岡市からの委託に基づき株式会社エヌ・ティ・ティ ネオメイトが提供する、福岡市内広域のLPWAネットワークサービスです。

参考：http://www.city.fukuoka.lg.jp/keizai/kagakugi_jutsu/business/lorawan.html

※3 スマート水道メーターとは、水の流量等を一定間隔で計測し、蓄積したデータを要求に応じて伝達する機能をもつ水道メーターです。

1. 背景

近年、あらゆるモノがインターネットを通じてつながるIoTは、産業や社会等さまざまな分野に急速に広がり、ビジネスモデルや人々の暮らしを大きく変革することが期待され、リアルタイムでの情報収集や遠隔制御等が行えるようになってきました。

このような中、福岡県 No.1 の賃貸管理戸数※4を持つ三好不動産とIoT技術を用いた新ビジネス創出をめざすNTT 西日本は、IoTを活用した不動産管理業務の効率化等の課題解決について検討を進めてまいりました。

一方、アズビル金門はスマート水道メーターの普及をめざし、LoRaWAN™ネットワークを用いた実証実験フィールドを求めていました。

そこで3社がそれぞれの強み・得意分野を生かし協業することで、水道メーターの自動検針実証を行うこととなりました。

※4 全国賃貸住宅新聞調べ（2017年8月現在）

2. 実証概要

(1) スマート水道メーターからのデータ送信

三好不動産が管理する賃貸物件における私設のスマート水道メーターから Fukuoka City LoRaWAN™ を通じて検針値を送信します。

(2) データの見える化・状態監視

受信した検針値をもとに水の流量等を可視化します。
またデータの欠損が生じた場合には、アラートを通知します。

(3) データの確認

<三好不動産>

見える化されたデータをもとに検針作業を実施します。

<アズビル金門>

見える化されたデータと現地のスマート水道メーターの値を突合し、情報に差分がないことの確認及び、データの欠損等の状況を確認し、LoRaWAN™ 通信モジュールの調整を行います。

<トライアルイメージ>



(4) 実証実施期間：2018年5月1日～2018年10月31日

3. 各社の役割

(1) 三好不動産

- ・実証フィールド（物件）の提供
- ・不動産管理業務におけるスマート水道メーター自動検針の有用性検証

(2) NTT 西日本

- ・ Fukuoka City LoRaWAN™ 技術サポート
- ・ 取得データの見える化等アプリケーションの提供

(3) アズビル金門

- ・ スマート水道メーター、LoRaWAN™ 通信モジュールの設置
- ・ LoRaWAN™ 通信モジュールを用いたスマート水道メーター通信の技術検証

ニュースリリースに記載されている内容は、報道発表時のものです。
最新の情報と内容が異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

審査 18-127-1